

科目名	看護統合援助	配当時期	3年次前期・後期	講義担当者
時間割表記名		単位数	1単位	吉竹あゆ、田中紀代美
看護統合援助(多重課題・看護研究)		時間数	30時間(15回)	(実務経験のある教員)
事前学習内容				
<p>複数の受け持ち患者の病態、検査、治療、看護についてレポートにまとめる。</p> <p>2年次に立案した研究計画書をもとに研究が進められるように、文献検索と実践のための準備を行う。</p>				
授業目標				
<p>1. 複数の受持ち患者の看護の優先順位の判断ができる。</p> <p>2. 複数の受持ち患者への看護実践ができる。</p> <p>3. 臨地実習での看護を通して事例研究ができる。</p>				
DPとの関連				
<p>DP1. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。</p> <p>DP2. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。</p> <p>DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。</p> <p>DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。</p>				
授業の流れ				
回	学習内容	方法	備考	
1	1. 複数の受持ち患者の看護過程の展開① 1) 情報の整理・解釈	講義 課題学習	テキスト①	
2	2) 看護問題の抽出・計画の立案 3) 複数の受持ちにおける看護の優先順位の決定	グループワーク	テキスト①	
3	2. 複数の受持ち患者の看護実践①	シミュレーション	テキスト①	
4				
5	3. リフレクション	講義 グループワーク	テキスト①	
6	4. 複数の受持ち患者の看護過程の展開② 1) 情報の整理・解釈	課題学習 個人ワーク	テキスト①	
7	2) 看護問題の抽出・計画の立案 3) 複数受持ちにおける優先順位の決定			
8	5. 技術試験オリエンテーション	オリエンテーション		
9	6. OSCE: 複数の受持ち患者の看護実践②	OSCE		
10	1) ブリーフィング			
11	2) シミュレーション			
12	3) デブリーフィング・自己の課題の明確化			
13	【看護研究: ケーススタディ】 臨地実習の受け持ち患者をとおした看護研究の実践	演習	テキスト②③	
14	研究発表	発表会	テキスト②③	
15				

<p>受講上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題に取り組み複数患者対応のシミュレーションを実施し、デブリーフィングで学びを深める。 ○複数の受持ちの患者の看護実践では、事例の事前学習および個人ワークを用いてグループワークを進める。評価は、課題内容とOSCE(ルーブリック)により行う。 ○看護研究は、2年次に立案した研究計画書に基づき、3年次の臨地実習事例でケーススタディを実践する。担当教員の指導を受けながら計画的に取り組む。 <p>13回目は前期に行い、発表は12月を予定する。</p>	<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート OSCE 研究論文 研究発表
<p>使用するテキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ①複数受持ちの2事例の看護に必要なテキスト ②統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院 ③看護研究に必要なテキストおよび文献 <p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事例検討に必要なテキスト 	